

はばだけ！ 広島サンダーズ

久原 大輝

4月19日。開幕してから46戦目になる、クォーターファイナル2戦目の名古屋戦。カメホ選手が放った渾身のスパイクをシヤットアウトされて、今季の戦いが幕を閉じた。

最後の最後まで勝利を信じて



試合前の円陣で気合を入れる選手たち (19日)



まだまだ強くなれる

戦ったが、要所で試合巧者の名古屋のペースにのみ込まれてしまった。欲を言うならば18日の初戦の2セット目を取れていた。中盤まで3点リードを保ちながら、逆転を許してセットを落としたが、その場面がターニングポイントだったかもしれない。短期決戦の怖さを感じた瞬間でもあった。

だが、選手たちは本当によく戦ってくれたと思う。試合での経験は、練習では代え難い貴重な時間。特に負けたら終わりのトーナメント戦では、大きく成長する絶好のタイミングでもある。クォーターファイナルでの敗戦後、悔し涙を流し、全てを出し尽くした表情をしている選手もいた。このチームはまだまだ強くなる。試合後の様子を見ると私は実感した。

6位という成績には、誰も満足していない。この試合を最後に引退した選手たちの思いを受け継ぎ、来季はこの壁をチーム全員で突き破っていききたい。

(広島Tマネジャー)